



わだち

公益社団法人
福島県トラック協会 広報誌

2019年

11

vol.466



02 トピックス 福島県トラック協会が日本赤十字社 福島県支部より感謝状を授与される

04

全ト協

- * 千葉市で全国事業者大会が開催
- * 第51回全国トラックドライバー・コンテストが開催

03

県ト協

- * 2019年度各種助成事業執行状況
- * 事故防止講習会の日程
- * 人事異動

04

支 部

- * 県北支部がソフトボール大会を開催
- * 会津支部が安全運転ドライバー研修会を開催
- * いわき支部が労働災害事故防止講習会及び運行管理者一般講習会を開催

04

女性部会

- * 女性部会県南支部が清掃活動を実施

12

陸災防

- * 第34回全国フォークリフト運転競技大会を開催
- * 福島県産業安全衛生大会を開催

05

お知らせ

- * 減車または増車申請に係る変更措置について
- * 2019年度第2回運行管理者試験のご案内
- * 運行管理者試験の申請サービスのお知らせ

10

トピックス

- * 継続的な新卒者採用を目指しジュニアインターンシップを推進

トピックス 福島県トラック協会が日本赤十字社福島県支部より感謝状を授与される

10月8日(火)に福島市「日本赤十字社福島県支部」において、2019年度日本赤十字社福島県支部献血団体並びに献血推進団体表彰式が執り行われ、福島県トラック協会に感謝状が授与された。

公益法人移行後の2014年より福島県トラック協会が毎年開催している、「トラックの日」フェスタでの献血活動への貢献が認められたもので、今回は5年以上の協力がある団体に贈られる「福島県支部長感謝状（銀杯）」を受賞した。トラック協会では今後も「トラックの日」フェスタを中心に、献血運動の推進に積極的に協力していく。



【受賞団体代表者による記念撮影
前列右から3番目が蓬田 隆信 副会長】

CONTENTS

全 ト 協	千葉市で全国事業者大会が開催.....	4
	第51回全国トラックドライバー・コンテストが開催.....	11
県 ト 協	2019年度各種助成事業執行状況.....	3
	会員だより.....	6
	人事異動.....	6
	11月の行事予定.....	13
	事故防止講習会の日程.....	13
支 部	県北支部がソフトボール大会を開催.....	4
	会津支部が安全運転ドライバー研修会を開催.....	6
	いわき支部が労働災害事故防止講習会及び運行管理者一般講習会を開催.....	11
女性部会	女性部会県南支部が清掃活動を実施.....	4
協同組合	ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報.....	13
陸 災 防	第34回全国フォークリフト運転競技大会を開催.....	12
	福島県産業安全衛生大会を開催.....	12
	技能講習等実施予定.....	12
お 知 ら せ	減車または増車申請に係る変更措置について.....	5
	2019年度第2回運行管理者試験のご案内.....	7
	運行管理者試験の申請サービスのお知らせ.....	8
	交通事故統計.....	13
トピックス	福島県トラック協会が日本赤十字社福島県支部より感謝状を授与される.....	2
	継続的な新卒者採用を目指しジュニアインターンシップを推進.....	10

県ト協 2019年度各種助成事業執行状況

2019年度の各種助成事業の2019年10月21日現在の執行状況は下表のとおりとなっています。
 助成事業によっては、助成金申請書の提出期限前であっても、予算額に達した場合は申請しても助成されませんので十分注意してください。
 また、「執行状況」については、本表作成時点後の申請状況により変わりますので、助成事業の利用を予定している方は、早めの申請をされるようにしてください。

2019年10月21日現在

区分	助成事業名	制度の概要	助成額等	限度額	執行状況(%)
交通安全対策事業費	1 適性診断	運転者適性診断(一般・初任・適齢)の受診料の助成	一般診断 2,300円/人 初任診断 2,000円/人 適齢診断 2,000円/人	一人年1回	61
	2 睡眠時無呼吸症候群検査(SAS)	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査に要する経費(第一次検査、第二次検査、再検査)の助成	5,000円/人	一人年1回 1会員 50人まで	31
	3 睡眠時無呼吸症候群精密検査(PSG)	SAS検査の結果、精密検査の対象となった者に検査費用の助成	20,000円/人	一人年1回	13
	4 脳ドック受診	運転手(40才以上)の健康管理のため、脳ドック受診に対する助成	10,000円/人	1会員 15名まで	50
	5 ドライバー研修	安全運転研修施設にドライバー等を派遣訓練経費(受講料)に対する助成	全ト協主催の一般研修 全額 全ト協主催の特別研修 Gマーク取得事業所 全額 その他 7割	1会員 10名まで	37
	6 EMS	EMS機器の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限40,000円)	1会員 15台上限	40
	7 ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2 運行管理連携 40,000円 (20,000円) 標準型 20,000円 簡易型 10,000円 ※()書きの金額は国の補助金を受けた場合	1会員 15台上限	49
	8 安全装置	後方視野確認支援装置、側方視野確認支援装置、呼吸吹込み式アルコールインターロック、IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器の導入に要した経費に対する助成	37,000円/台	1会員 15台上限	43
	9 フォークリフト技能講習受講料	陸災防の行うフォークリフト運転技能講習の受講経費	4,000円/人		43
	10 衝突被害軽減ブレーキ装着車	中型車を対象に、衝突被害軽減ブレーキ装着車の導入に要した経費に対する助成	取得価格の1/2 100,000円/台上限	1会員 3台上限	40
	11 中型・大型免許助成	従業員に準中型免許、中型免許、大型免許、けん引免許を指定教習所で取得させた費用に対する助成	準中型免許 40,000円/人上限 中型免許(二種は除く) 75,000円/人上限 大型免許(二種は除く) 150,000円/人上限 けん引免許 50,000円/人上限 中型限定解除 30,000円/人上限 準中型限定解除 20,000円/人上限	1会員 50万円上限	65
	12 定期健康診断	運転手の健康診断に対する助成	1,500円/人・年(上限)	車両台数上限	31
	13 SDカード	運転手のSDカード取得に対する助成	630円/人・年(上限)	1事業者 150人上限	52
	14 血圧計	血圧計の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限70,000円)	1事業所 2台	36
	15 女性用休憩施設等整備	女性従業員用の休憩室、更衣室、トイレ等の増改築の費用の一部に対する助成	工事費の1/2(上限300,000円)	1事業者 1施設	29
交通公害対策費	16 アイドリングストップ支援機器	アイドリングストップ支援機器の導入に要した経費に対する助成	電気式の毛布・マット・ベッド 15,000円/枚 エア・温水式ヒーター 60,000円/基 蓄冷式クーラー(リヤ・三菱) 50,000円/基 蓄冷式クーラー(ベッドルームクーラー・デンソー、UD) 50,000円/基 車載バッテリー式冷房装置 60,000円/基	電気式の毛布・マット・ベッド 30枚 エア・温水式ヒーター 3基 蓄冷式クーラー・車載バッテリー式冷房装置 3基	32
	17 ポスト新長期	ポスト新長期規制適合車を導入した経費	小型 新車 20,000円 中型 新車 40,000円 大型 新車 60,000円 ※CNG、ハイブリッドトラックについては要綱を参照のこと	15台	39
	18 エコタイヤ	エコタイヤ(転がり抵抗5%以上低減)を導入装着に要した経費	2,000円/本 車両数×1/3(四捨五入)×10本上限	150本	49
研修調査事業費	19 中小企業大学校	中小企業大学校の対象講座の受講料を受講した場合	受講料の2/3相当額		10
	20 グリーン経営認証	グリーン経営認証を取得又は更新した際の費用の一部を助成	新規取得 100,000円 更新 50,000円	1事業者 1回/年 (支店、営業所の数にかかわらず年度内で1事業者につき取得・更新のどちらか1回)	54
	21 経営診断	経営診断に要した経費の一部に対する助成	経営診断費用の1/2 80,000円限度 (Gマーク取得者は 100,000円限度)		0
基金運営事業費	22 近代化基金利子補給	物流施設整備資金、車両(ポスト新長期含)、省エネ機器等購入に要する資金借入に対する利子補給	近代化基金融資 利率 0.3% ポスト新長期車 " 0.3% 低公害車・省エネ関連機器 " 0.3%	近代化基金 1会員 3千5百万 ポスト新長期 1会員 7千万 低公害車等 1会員 3千5百万	85
	23 信用保証料	信用保証協会の一般保証料に対する助成	信用保証料の額が 50,000円まで 全額 50,000円～50,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限年度内 100,000円	47
	24 緊急制度資金信用保証	県制度資金等の保証料に対する助成	信用保証料の額が 100,000円まで 全額 100,000円～100,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限年度内 200,000円	59
	25 緊急制度資金利子助成	県ト協の保証料助成を受けたものに対する借入利子の助成	支払利子利率の0.8%(3年間)		96
	事業正費化	26 運行管理者講習	運行管理者講習(一般、基礎)の受講料の一部に対する助成	一般講習 1,500円/人・年 基礎講習 5,000円/人・年	一般講習は選任管理者のみ 基礎講習は車両台数の10%を上限(端数切上げ)

注1 「制度の概要」は、助成制度の概略を記載したもので、詳細は助成要領等で確認してください。
 注2 本表は、会員を対象としたもので、Gマーク取得の非会員に対する助成措置は省略してあります。
 注3 「執行状況」は、予算額に対する執行率を「%」で表示します。概ね90%を超えたときは「締切間近」と、また、予算額に達した場合は「終了」と表示します。

全ト協 千葉市で全国事業者大会が開催

第24回 全国トラック運送事業者大会は10月2日(水)に千葉県千葉市「幕張メッセ国際会議場及び東京ベイ幕張ホール」において全国から約1,300名が参加（福島県からは理事を中心に総勢20名）し成功裡に閉会した。



【全国より1,300名が参加】

事業者大会では、大会決議項目でもある「改正貨物自動車運送事業法の円滑な実施に係る適切な対応」及び「働き方改革の実現に向けた対策の推進」を軸にプログラムが構成されており、運送業界が取り組むべき諸課題の解決に向けて全力で着手していくことを確認した。

同大会ではその他に2分科会、記念講演も実施され、それぞれの分科会では、コーディネーター、各ブロックのトラック運送事業者代表によるパネリストを中心としてディスカッションを実施し、大会最後には参加者全員による“ガンバローコール”を力強く行い同大会を締めくくった。

なお、来年の全国トラック運送事業者大会は近畿ブロックが担当し、大阪市で開催される。

分科会

分科会	テーマ
第1分科会	健康管理の増進と交通事故防止対策の推進について
第2分科会	働き方改革の実現に向けた取引環境の改善について

記念講演

講演題目 「廃線危機からの脱出」
～いすみ鉄道の復活秘話～
講師 いすみ鉄道前社長
NPO法人おいしいローカル線をつくる会理事長
鳥塚 亮氏

女性部会 女性部会県南支部が清掃活動を実施



【清掃活動の様子】

女性部会県南支部（中村 須美子 副部長、大竹 ゆかり 幹事）は、10月9日(水)に「トラックの日」の活動として清掃活動を実施した。

当日は中村副部長を含む総勢5名の部会員が、白河の関トラックステーション及び周辺道路のゴミ拾いを行い、普段利用している公共施設及び道路に対する感謝の意を表した。

清掃活動終了後には今後の活動方針についてのミーティングも行われ、清掃活動の継続と部会（本会）及び支部活動への積極的な参加を確認した。

支部 県北支部がソフトボール大会を開催

県北支部（蓬田 隆信 支部長）は10月6日(日)に陸災防県北分会と共催で、毎年恒例の「健康増進ソフトボール大会」を開催した。

当日はあいにくの曇天であったが、支部管内20チームが参戦し、応援団の熱い声援を受けながら熱戦を繰り広げた。優勝はヤマト運輸(株)チーム、準優勝は西濃運輸(株)チーム、3位はJAパールライン福島(株)及びヤクルトロジスティクス(株)チームとなった。



お知らせ

減車または増車申請に係る変更措置について**重要**

平成30年12月に改正された**貨物自動車運送事業法**により、**令和元年11月1日**から、営業所に配置する事業用自動車の減車または増車については、一定の要件に該当する場合は、**届出ではなく認可を受ける必要**があります。

1 最低車両数（5両）を下回る場合（霊柩、一般廃棄物、島しょは除きます。）

例① 10両→7両（3両減車）の場合……届出

例② 10両→3両（7両減車）の場合……認可申請

※減車により最低車両数を下回る場合は、原則として認可されません。

2 増車する車両数が、申請日から起算して3ヶ月前時点の車両数の30%以上であり、かつ、11両以上である場合

※増車する車両数とは、今回変更する数と3ヶ月以内に増加した数を合算した数をいいます。

例③ 10両→12両（2両増車）の場合＝ 20%……届出（30%未満）

例④ 10両→15両（5両増車）の場合＝ 50%……届出（30%以上だが10両以下）

例⑤ 37両→48両（11両増車）の場合＝ 29%……届出（11両以上だが30%未満）

例⑥ 36両→47両（11両増車）の場合＝ 30%……認可申請（30%以上かつ11両以上）

3 増車については以下に該当する場合

イ 申請者と法第5条第3号に準ずる密接な関係者が貨物運送事業の許可取消し後5年を経過しない者である場合

ロ 変更に係る営業所の行政処分の累積点数が12点以上である場合

ハ 変更に係る営業所が、申請日前1年間に、地方貨物自動車運送適正化事業実施機関による巡回指導の総合評価で「E」の評価を受けている場合

4 その他

その他、貨物自動車運送事業法改正により審査基準等が変更になっています。



詳しくは運輸支局担当者までお問い合わせください。

TEL.024-546-0343

(音声ガイダンス後3番プッシュ輸送・監査部門)

支部 会津支部が安全運転ドライバー研修会を開催

会津支部（菅野 高志 支部長）は安全運転ドライバー研修を10月26日(土)会津若松市「会津自動車学校」において実施した。支部会員9事業所18名が参加し座学（安全運転の知識及び一般常識・雑学）・実技（コース走行）指導及び運転適性診断を受診した。



同研修会は、交通安全意識の高揚を図りながら、安全運転に対する心構えを再認識させることで、高品質の輸送サービス提供へ繋げることを目的として毎年実施している。

会員だより

退会会員事業所

支部	店・社名
県南	(有)酒井屋

賛助会員退会事業所

支部	店・社名
県北	日通郡山運輸(株)福島営業所

会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
4	千野運輸(株)福島営業所	住所	二本松市渋川字栗木内42	二本松市渋川字栗木内43
7	(株)ルナサンド二本松営業所	郵便番号 住所	964-0916 二本松市向原266-10ネトハイツ1号	964-0981 二本松市平石高田3丁目430番
15	(株)昭和運送店	代表者 (支店・営業所代表者)	黒川 久	大河原嘉一
20	本宮運輸(有)	住所	郡山市西田町鬼生田字菅野沢302番地3	郡山市西田町鬼生田字大谷地421-1
22	(有)みなと葬祭社	代表者 (支店・営業所代表者)	湊 哲夫	湊 俊夫
24	誠和梱包運輸(株)郡山営業所	事業所名	東北誠和梱包運輸(株)郡山営業所	誠和梱包運輸(株)郡山営業所
25	福島日配運輸(株)郡山営業所	住所	郡山市富久山町福原字神明27番1	郡山市富久山町福原字竹ノ内1番26号
36	喜多方貨物砕石工業(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	石田圭一	石田陽市
49	安立サービス(株)いわき営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	神尾浩三	木田栄一
49	いわき大王紙運輸(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	高萩 進	真保勝行
51	誠和梱包運輸(株)いわきロジスティクスセンター	事業所名	東北誠和梱包運輸(株)いわきロジスティクスセンター	誠和梱包運輸(株)いわきロジスティクスセンター
52	(株)名古屋技研	代表者 (支店・営業所代表者)	鈴木功治	鈴木折子
53	東日本エア・ウォーター物流(株)いわき営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	越後浩司	白土幸徳
53	(株)丸運トランスポート東日本東北支店小名浜営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	松野重好	高橋次男
54	(株)ヤマガタいわき営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	鈴木龍也	遠藤裕司
56	誠和梱包運輸(株)いわき営業所小名浜輸送センター	事業所名	東北誠和梱包運輸(株)小名浜輸送センター	誠和梱包運輸(株)いわき営業所小名浜輸送センター
57	日本梱包運輸倉庫(株)いわき営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	篠塚祥弘	鶴沼良一
57	(株)ニヤクコーポレーション小名浜事業所	代表者 (支店・営業所代表者)	佐々木秀諭	阿部和男
58	ヤマト運輸(株)いわき好間支店	代表者 (支店・営業所代表者)	羽根田雅紀	星野純一

県ト協 人事異動

次のとおり人事異動がございましたのでお知らせいたします。

発令 10月10日付

発令 11月1日付

退職	氏名	新規採用	氏名
業務部部長	トクナガ カズオ 徳永 勝男	総務部係員	モリグチ マサト 森口 政人

2019年度第2回運行管理者試験のご案内

●試験日時、会場、受験申請書の頒布（販売）、申請期間等

- (1) 試験日時：2020年3月1日(日) 13時15分～14時45分(90分)
- (2) 試験会場：郡山市「郡山ユラックス熱海」、「ホテル華の湯」(予定)
- (3) 申請書の頒布（書面申請）期間
 - ①書面申請書による申請：2019年11月8日(金)～12月4日(水)
 ※2019年12月4日(水)当日の消印有効（締切日を過ぎたものは受理されません）
福島県トラック協会（本部）にて上記期間内で申請書を販売いたします。
 - ②インターネットによる申請：2019年11月8日(金)～12月10日(火)
- (4) 試験結果発表日：2020年3月31日(火) (予定)

●書面申請

- (1) 受験申請書：1部1,050円（税込）
- (2) 受験手数料
 - ①採点結果通知書を希望する方は 6,220円
 - ②採点結果通知書を希望しない方は 6,000円

●インターネット申請（パソコン又はスマートフォンから申込みができます。）

- (1) 申込方法：（公財）運行管理者試験センターホームページにアクセスして申込手順に従って必要事項を入力してください。 (<http://www.unkan.or.jp/>)
 - ①個人による電子申請
インターネットシステムが整うパソコン又はスマートフォンから試験センター、ホームページのサイトにアクセスして電子申請の申し込みを行って下さい。
 - ②団体による電子申請（パソコンのみ）
各企業において一括で取りまとめて申し込みを行う「団体申請」は、本社だけでなく、支社、支店又は営業所など内部機関ごとに電子申請（パソコンのみ）の申し込みを行うことができます。なお、あらかじめ、団体情報の登録が必要となります。
- (2) 申込期間：2019年11月8日(金) 午前9時～ 12月10日(火) 23時59分（厳守）まで。
- (3) 受験手数料及びシステム利用料
 - ①受験手数料：6,000円（非課税）
 - ②システム利用料： 660円（税込）
- (4) 注意事項：インターネット申請の申込み後、2020年1月6日(月) 23時59分（厳守）までに受験手数料の支払いを行わないとインターネット申請が取消しとなります。

●時間がない方は「おまかせ申請サービス」があります。（詳細は8、9ページでご確認ください）

- 受験申請手続きの詳細は、わだち10月号に同封した試験案内書及び運行管理者試験センターのホームページをご確認ください。

（公財）運行管理者試験センター 試験事務センター

自動音声サービス：TEL 04-7170-7077（平日9時～17時はオペレーター対応有）
 ホームページ：<http://www.unkan.or.jp/>

- ※1. トラック協会各支部では受験申請書を取扱いしておりません。⇒問合せはTel：024-558-7755まで
- ※2. 受験申請書の郵送販売制度は廃止となりましたのでご注意ください。

運行管理者試験の申請サービスのお知らせ

パソコン
なしでも
OK

時間がない方にオススメ 『おまかせ申請サービス』

おまかせ申請サービスとは・・・

簡単

● 申請書は、スマートフォン、パソコン及び Fax から簡単に入手できます。

安心

● あなたはデスクにおまかせ申請書等を郵送するだけ
あとは私どもが電子申請手続きを行います。

便利

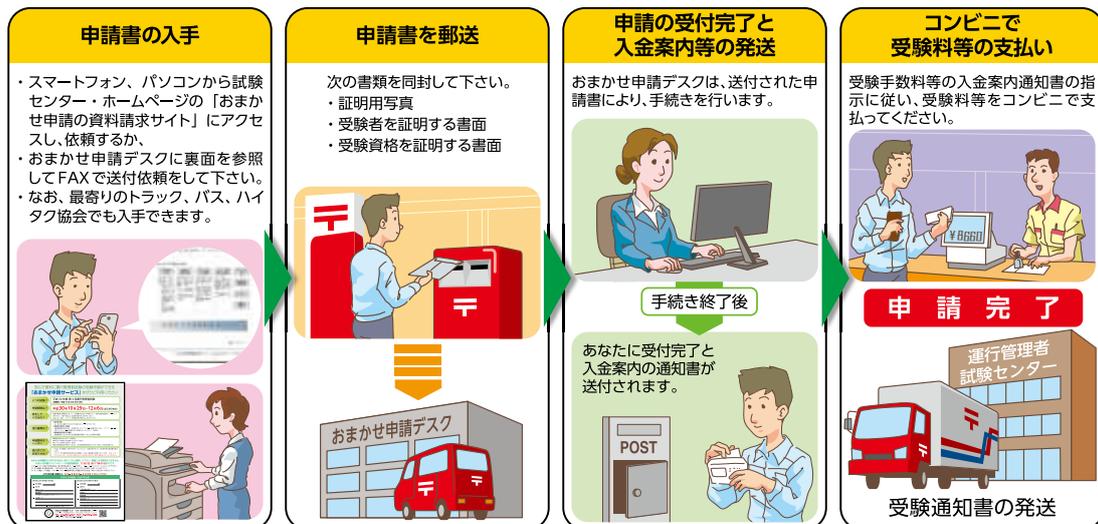
● 申請費用の支払いは、ご希望のコンビニでできます。
(申請費用の内訳は、裏面を参照)

支払は
コンビニで
OK

申請期間

令和元年 11月 8日 (金) ~ 12月 4日 (水) (当日消印有効)

おまかせ申請サービスの流れ



次ページも見てね

安心して便利に運行管理者試験の受験申請ができる『おまかせ申請サービス』をぜひご利用ください

いつの試験？

令和元年度 第2回運行管理者試験
(試験日：令和元年3月1日(日))

申請期間は？

令和元年 **11月8日**～**12月4日** (当日消印有効)

何をしてくれるの？

試験申請受付期間内において、申請書を運行管理者試験事務センターに送付すると、電子申請による試験申請の申込みを行います。
あなたは、後日、コンビニで受験手数料等を払い込むだけです。

添付書類は？

- ①証明用写真
6ヵ月以内に撮影されたもので白黒又はカラーのどちらか1枚
- ②受験者を証明する書面
自動車運転免許証(写)、住民票(写)(マイナンバーの記載がないもの)、マイナンバーカード(写)(マイナンバーの記載がない表面のみ)のどれか1つを提出
- ③受験資格を証明する書面
基礎講習修了証(写)等又は実務経験証明書(1年以上の実務の経験)

申請費用は？
(一人当り)

- 受験手数料 6,000円(非課税)
- おまかせ申請に係る費用 2,000円(税込)
- システム利用料 660円(税込)
- 採点結果通知を希望される方は、採点結果通知手数料 220円(税込)が別途必要です。

受付完了のお知らせは？

- ・「おまかせ申請書」の受付を完了したときには、申請の受付完了と入金案内等の通知書を郵送します。
- ・コンビニでの受験手数料等の支払期間は、支払い通知書に記載されています。**令和2年1月6日(月)午後11時59分(厳守)までにお支払い頂けない場合、受験することができません。**

おまかせ申請書入手する方法は、次の3つから選択して下さい。電話による請求はできません。
おまかせ申請デスクへの①～③の請求期限は、**令和元年11月29日(金)17時00分**までです。

- ①スマートフォン等からの申込方法：運行管理者試験センターで検索し、ホームページからサイトに入ることができます。
- ②FAX送信による申込み方法：下記の送付申込書(自宅か会社のいずれかを選択し記載)をご送付下さい。
- ③トラック協会、バス協会、ハイヤー・タクシー協会等の窓口で直接入手する方法：事前に各協会等へお問合せ下さい。

以下の申込書に記載の上、**04-7170-7082**にFAXして下さい。

「おまかせ申請書」の送付申込書

【自宅宛に送付を希望する場合】	【会社宛に送付を希望する場合】
1. 送付部数 _____ 部	1. 送付部数 _____ 部
2. 送付先 氏名(フリガナ) _____ 電話番号 _____ (日中連絡が可能な電話番号を記載して下さい。)	2. 送付先 ご担当者の氏名(フリガナ) _____ 会社名 _____ 電話番号 _____
3. ご住所 〒 _____ _____	3. 会社住所 〒 _____ _____
※マンション名、アパート等の名称及び部屋番号まで記載して下さい。	※ビル名等の名称、階数まで記載して下さい。



おまかせ申請デスク ((公財)運行管理者試験センター 試験事務センター内)
〒277-8691 日本郵便株式会社柏郵便局私書箱50号
TEL: 04-7170-2220 FAX: 04-7170-7082
ホームページ: <http://www.unkan.or.jp/>



トピックス 継続的な新卒者採用を目指しジュニアインターンシップを推進

県南支部に所属する(株)須賀川東部運送(吉田 雅弘 社長)は、3年前より「ジュニアインターンシップ(高校生の就業体験)」の受け入れを積極的に行っている。

インターンシップは、就職や仕事への理解や関心を高めてもらうため、「学生が企業の事業場へ直接訪問し、実際に働くことでその職業や仕事の体験をする制度」のことで、参加する学生はもちろんのこと、学校の教職員及び保護者に対しても、業界の実態を正しく理解してもらいながら、同時に企業の存在もアピールできるメリットがある。

同社は10月23日(水)から3日間にわたり、学校法人石川高等学校(石川町)に通う2年生の男子生徒2名の受け入れを実施。インターンシッププログラムの内容は、1日目のオリエンテーションから始まり、会社概要及び物流の基礎知識についての説明、安全指導、構内案内、事務所での接遇体験。2日目、3日目は2班に分かれて、倉庫作業、荷役作業、配送作業等をそれぞれ体験させることで、「働くことの意義」を感じさせながら、「物流業界に対する興味」を持ってもらうことに重点を置いている。



【オリエンテーションの様子】

就業体験の生徒さんを戸惑わせないよう、きめ細かいプログラムでサポート



入社後の育成プログラムと離職を防ぐための対策

同社の乗務員は約70名で、社員の平均年齢は42.5歳と全日本トラック協会が示している運送業界従事者の平均年齢46.1歳より若い状況ではあるものの、「今後5年~10年先を見据えた場合、若年労働者の確保と離職させないためのシステム作りは必要不可欠である。」と吉田社長は語る。

同社では新卒者を採用した場合、配属先を最低1年は固定し会社の風土に慣れさせながら、社会人としての基礎をしっかり身に付けさせる。その後1~2年かけて配属先の業務を完全にマスターさせる育成プログラムを構築。入社後2年目以降は定期的に社員面談を実施し、将来的に従事したい希望部署及び業務を聞き取りする等、必要に応じて柔軟に配置転換も行いながら社員のモチベーションアップも図っている。また、様々な外部研修にも積極的に派遣することで社員のスキルアップアシストにも力をいれているのが特徴であり、同社の掲げる品質づくりは人づくり「品質=人質(じんしつ)」への企業理念にも一致している。

最後に新卒者採用のメリットについて吉田社長に伺ったところ、「①企業の活性化 ②企業の対応力向上 ③企業内に教える文化が根付く ④新分野へのチャレンジ意欲の向上」等を挙げ、同社は既に取り組んでいる、中途採用者に対する社員教育プログラムとの両輪で人材育成・労働力確保対策に邁進していく。

全日本トラック協会ではインターンシップ受入れに対し、助成制度を設置!

助成金の交付予算額

1.500万円



助成金額

インターンシップ受入れ期間

3日間 **9万円**

4日間 **11万円**

5日間以上 **13万円**

全日本トラック協会では若年労働者確保に繋がるインターンシップの促進を進めており、インターンシップを実施した事業者に対する助成制度を設けております。

※助成制度を利用するためには、事前に全ト協の開設したインターンシップ登録サイトに必要事項の登録が必要となり、全ト協が定めた「インターンシップ導入促進支援事業助成金交付要綱(要領)」の内容に適合した事業者に対して助成を行います。(詳細はわだち8月号P12.13参照)

全ト協 第51回全国トラックドライバー・コンテストが開催

全日本トラック協会主催の第51回全国トラックドライバー・コンテストが10月26日(土)、27日(日)の2日間にわたり、茨城県ひたちなか市「自動車安全運転センター 安全運転中央研修所」において開催された。

大会では、都道府県トラック協会の地区大会を勝ち抜いてきた150名の精鋭ドライバーが参加し、福島県からは、7月の福島県大会を勝ち抜いた3部門（4トン、11トン、トレーラ）3名の代表が学科競技（法規、構造機能、運転常識）と実科競技（運転技能、点検）の2種目について、プロトラックドライバー日本一を目指し競った。

福島県代表の3名は惜しくも入賞は逃したが、日頃より培った知識と技術を存分に発揮し大会を終了した。



【競技の様子】

支部 いわき支部が労働災害事故防止講習会及び運行管理者一般講習会を開催



いわき支部（鈴木 健仁 支部長）は10月24日(木)に、「パレスいわや」において、「労働災害事故防止講習会」を開催し、支部会員事業所より131名が参加した。

この講習は事故災害が多発傾向となる冬期間を前に、トラック運送業に係る“安全対策への取組や改善に向けての意識高揚を図ること”を目的として、支部の会員事業所を対象に毎年開催している。

内容は2部構成となっており、第1部ではいわき労働基準監督署担当官による、「陸上貨物運送事業の安全対策」、「労働時間法制の見直し」について、陸災防福島県支部の五十嵐事務局長からは「県内の労働災害発生状況等」について説示を受けた。第2部では三井住友海上アドバイザーによる「働き方改革とホワイト経営への具体策について」のテーマで講演を行った。

また、10月29日(火)には いわき方部 共同休憩所 大会議室において、今年度2回目となる「運行管理者一般講習会」を開催した。

本講習会は3年前より開催しており、今年度も平中央自動車学校のご協力のもと開催された。

当日は75名が参加し、運行管理者としての必要な知識の習得を行った。なお、同講習会は来年の1月28日(火)にも開催されることが決まっている。



陸 災 防 第34回全国フォークリフト運転競技大会を開催

菊地さん(日通郡山運輸株)

門馬さん(日通相馬港運輸株)

全国大会で健闘

陸災防本部主催、フォークリフトの運転技術の向上と労働災害防止を目的とした第34回全国フォークリフト運転競技大会は、9月29日(日)、埼玉県トラック総合教育センターで開催され、全国から勝ち抜いた選手78名が出席し、菊地さんの選手宣誓で競技はスタートし、学科、点検、運転競技の3種目で知識と技能を競いました。

福島県支部からは、菊地 隆男 さん (日通郡山運輸株) 、門馬 秀一 さん (日通相馬港運輸株) の2名が出席し、大変な緊張の中、日頃の力を発揮しベストを尽くし健闘いたしました。



【菊地さん】



【門馬さん】

陸 災 防 福島県産業安全衛生大会を開催

2019年度福島県産業安全衛生大会は、福島県労働基準協会主催、陸災防福島県支部共催で10月3日(木)会津若松市の「會津風雅堂」において、県内から県支部会員事業場を含む約550名が参加して開催された。

大会は第1部において、主催者唐橋幸市郎福島県労働基準協会会長が「労働災害の減少に向けて取り組み強化をしたい。」と挨拶があった。引き続き、産業安全及び労働衛生に努力されその功績が顕著と認められた方々が表彰され、当県支部会員事業場より3名が受賞した。

第2部では、小惑星探査機はやぶさ2のプロジェクトに参加されている、会津大学宇宙情報科学研究センター長 教授 出村 裕英 氏による「はやぶさ/はやぶさ2と福島県/会津大学」と題し特別講演が行われた。



【大竹社長・細谷社長】

福島県労働基準協会長賞 産業安全功労者

立花 秀一 様【日化運輸株式会社 総務部長】

細谷 博之 様【会津本郷貨物運送株式会社 代表取締役社長】

福島県労働基準協会長賞 労働衛生功労者

大竹 博史 様【株式会社ユミタ運輸 代表取締役社長】

陸 災 防 技能講習等実施予定

【フォークリフト運転技能講習】

開催地	講 習 開 催 日	学 科	
		実	技
郡 山⑨ いわき⑨	12 月	17(火)	1: 3(火) ~ 5(木) 2: 10(火) ~ 12(木)
		13(金)	1: 3(火) ~ 5(木) 2: 10(火) ~ 12(木)

※ 講習に関する詳細はホームページでご確認ください。 [Http://www.f-rikusai.org/](http://www.f-rikusai.org/)

11月の行事予定

日 程	行 事 内 容	開 催 場 所
1日(金)	2019年関係功労者等表彰式 (東北運輸局長、福島運輸支局長表彰)	福島市「ホテル福島グリーンパレス」
7日(木)	女性部会東北ブロック研修会	福島市「ザ・セレクトン福島」
13日(水)	運送業説明見学会及び企業説明会	福島市「福島研修センター」
16日(土)	第4回理事会	郡山市「郡山ビューホテル」
	政治連盟パーティー	
18日(月)	整備管理者選任前研修	郡山市「県中研修センター」
22日(金)	第4回「トラックの日」フェスタ実行委員会	郡山市「郡山ビューホテル」

事故防止講習会の日程

日 程	地 区	会 場	住 所	
11月	15日(金)	県 北	福島県トラック協会福島研修センター	福島市飯坂町平野字若狭小屋32
	21日(木)	いわき	パレスいわや	いわき市鹿島町久保字梅田4-1
	22日(金)	相 双	南相馬市労働福祉会館	南相馬市原町区小川町322-1
	25日(月)	会 津	会津方部共同休憩所	会津若松市町北町大字始字見島80-2
	26日(火)	県 南	白河の関トラックステーション	西白河郡泉崎村大字泉崎字夏針15-1
12月	2日(月)	県 中	ビッグパレットふくしま	郡山市南二丁目52番地

協同組合 2019年度ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報

「Web KIT」 荷物 (求車)・車両 (求荷) の情報登録・成約件数

※表にはKIT外成立は含みません

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年同期合計	増 減
荷物(求車)登録件数	1,053件	709件	474件	620件	862件								3,718件	3,492件	+ 226件
荷物(求車)成約件数	110件	113件	104件	110件	117件								554件	600件	- 46件
成約率	10.4%	15.9%	21.9%	17.7%	13.6%								14.9%	17.2%	-2.3ポイント
車両(求荷)登録件数	375件	355件	403件	354件	345件								1,832件	1,644件	+ 188件
車両(求荷)成約件数	266件	223件	234件	210件	221件								1,154件	1,013件	+ 141件
成約率	70.9%	62.8%	58.1%	59.3%	64.1%								63.0%	61.6%	1.4ポイント

お知らせ 交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は2018年に比べ2019年では発生件数(-16)、死者数(増減なし)、傷者数(-19)となっている。交通規則を守ることは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

交通ルールの遵守、思いやり運転等交通マナーアップ 交差点での安全確認の励行 速度の抑制

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況 (9月末)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	2018年 に比べて の増減数	10月	11月	12月	年間合計
2018年(概数)	発生件数	5	9	11	5	8	3	8	11	7	67			10	4	8
	死者数												1		1	2
	傷者数	5	11	17	6	10	3	10	18	7	87		15	4	11	117
2019年(概数)	発生件数	11	3	7	4	4	8	7	3	4	51	-16				
	死者数											0				
	傷者数	12	4	8	4	4	12	15	4	5	68	-19				



令和元年度



ピーエム・フォー

PM4ライトオン運動

期間

令和元年11月1日から令和2年2月29日まで



早めのライト点灯！
原則上向きライト！
こまめな上下切替え！



PM4ライトオン運動実施内容

1 午後4時を目安に早めにライトを点灯しましょう。

ドライバーは、ライトを早めに点灯することで、車両の存在を周囲の車両や歩行者に知らせることができ、交通事故の防止に大変有効です。

車のライト点灯により、歩行者は車が近づいてくることを早く発見できるようになります。

2 原則上向きライトとこまめな上下切替えをしましょう。

車のライトは、対向車や前方走行車両がないときは、「上向き」（ハイビーム）が原則です。

ライトの「上下切替え」をこまめに行い、歩行者や自転車を早めに発見し、交通事故を防止しましょう。

3 歩行者等は夜光反射材用品、懐中電灯等を活用しましょう。

夜光反射材用品は、車のライトに反射して、自分の存在をドライバーに知らせることができます。

歩行者等は、明るい目立つ色の衣類を着用し、履物や携行品等へ夜光反射材用品を取り付け、懐中電灯等も活用しましょう。

主唱 福島県・福島県交通対策協議会



トラック広報 わだち11月号 (通巻466号)

2019年11月1日発行 (毎月1回1日)
編集発行 公益社団法人福島県トラック協会
〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32
TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731
H.P <http://fukutora.lat37n.com/>

